



# HELIOS TUBE BTB

ユーザーマニュアル

## はじめに

このロゴがあるモデルには  
 Bluetooth Bridge 機能が搭載されています。

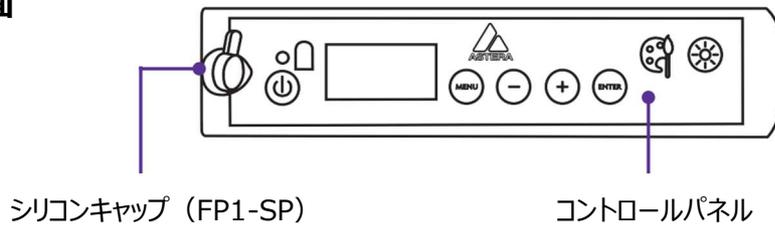


## 製品構成

- 1: Helios Tube BTB (FP2-BTB)
- 2: Eye Bolt (FP1-EBLT)
- 3: Tube Holder (AX1-H) 2 式
- 4: Tube Stand (AX1-STD)
- 5: Silicon Cap (FP1-SP)
- 6: ユーザーマニュアル

## 製品概要図

背面

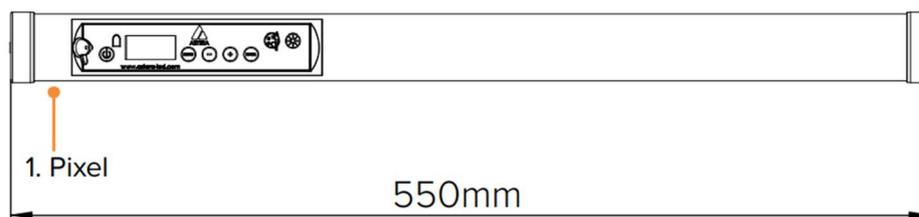


側面



全体

8ピクセルに分けて個別に制御可能です



## 操作方法

### 1. Integrated control panel / コントロールパネル

メニューボタンを使用してメインメニューへ移行します。

2つのシンボルボタンにより色味、明るさ、ランタイムを調整することが可能です。

	トップ画面での役割	メインメニュー画面での役割
	電源 ON/OFF	
	メインメニュー	前の画面に戻る
	リセットセッティング	下にスクロール
	信号入力の切り替え	上にスクロール
	DMX アドレスの設定	選択
	色味の設定	
	明るさ/ランタイムの設定	

### 2. その他のコントロールオプション

IR  オン/オフ、カラーモード、プリセットされたエフェクト

App  全セッティング、エフェクト、Talkback+、アップデート

DMX  CRMX/W-DMX を使用した DMX コンソールによる操作

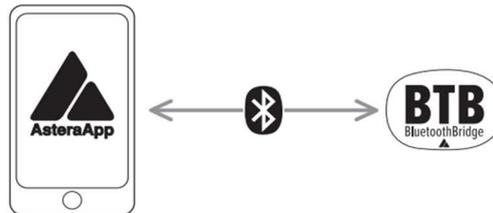
DMX  XLR5ピンケーブルによるコンソールでの制御

### 3. Switching On/Off / オン/オフの切り替え

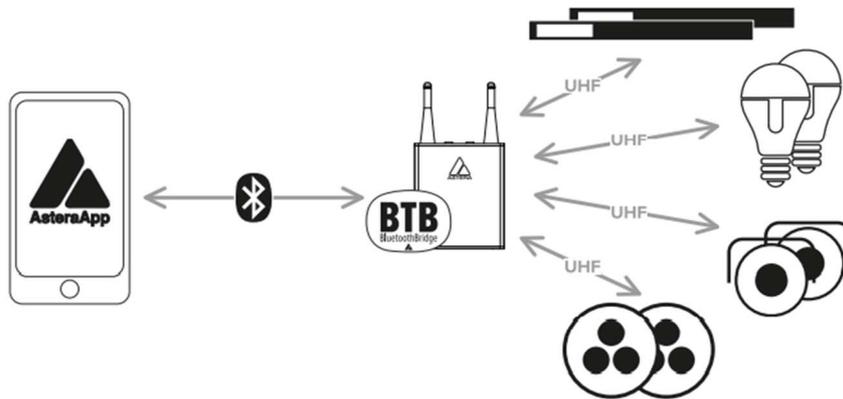


#### 4. Connect BTB / BTB 接続

AsteraApp を用いて灯体を制御する場合、最初に Bluetooth Bridge (BTB) を接続する必要があります。BTB を介してペアリングされた灯体に AsteraApp の信号を中継します。AsteraBox を BTB として使用できるほか、HydraPanel、AX9、NYX Bulb、PixelBrick、TitanTube BTB、HeliosTube BTB といった、BTB 内蔵の灯体でも使用できます。



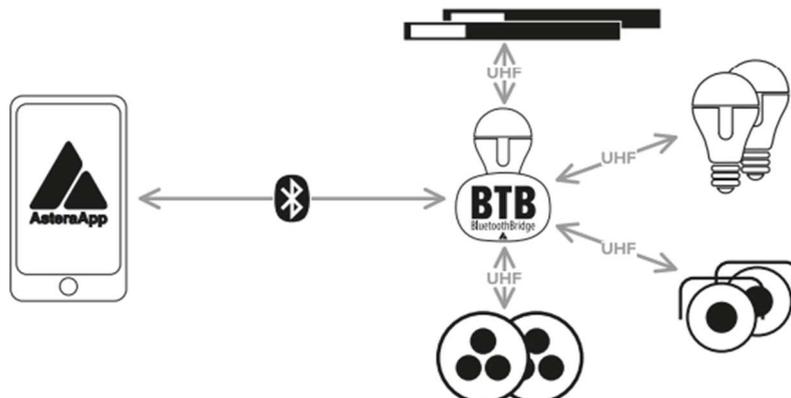
#### Connect AsteraBox as BTB / AsteraBox を BTB として使用する方法



AsteraBox の電源を入れ、AsteraApp のメインメニューから直接 AsteraBox を接続します。

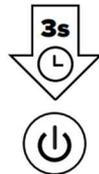
#### Connect light as BTB / 灯体を BTB として使用する方法

注意: Bluetooth 内蔵の Astera 灯体でのみ機能します。それ以外の Astera 灯体には AsteraBox を BTB としてご使用ください。

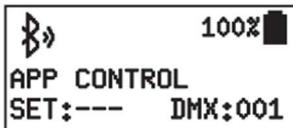
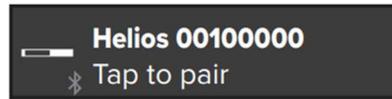


On/Off ボタンを3秒間押し続けた状態で“ブルーモード”にします。AsteraApp 側の、“Manage Bluetooth Bridges”を選択後、“+”をタップしてください。その後はインストラクションに従って設定を行います。BTBとして接続された灯体にはディスプレイ上に Bluetooth のアイコンが表示されます。

### 1.Helios Tube



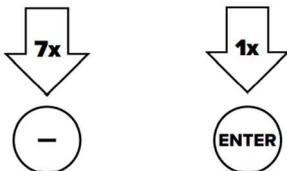
### 2.AsteraApp



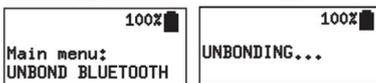
アイコンは BTB として灯体が接続されていることを表しています。



アイコンは BTB の使用が可能で、接続を待っていることを表しています。



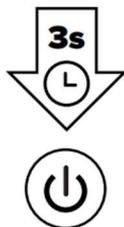
BTB の接続を解除するには、“UNBOUND BLUETOOTH”を押します。



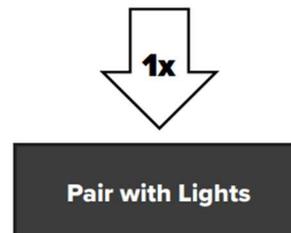
## 5. Pair with Lights / 灯体のペアリング

先ず灯体の電源を入れます。電源ボタンを 3 秒間長押し、青色に点滅するブルーモードにします。次に AsteraApp の“Pair with Lights”を選択し、OK をタップします。

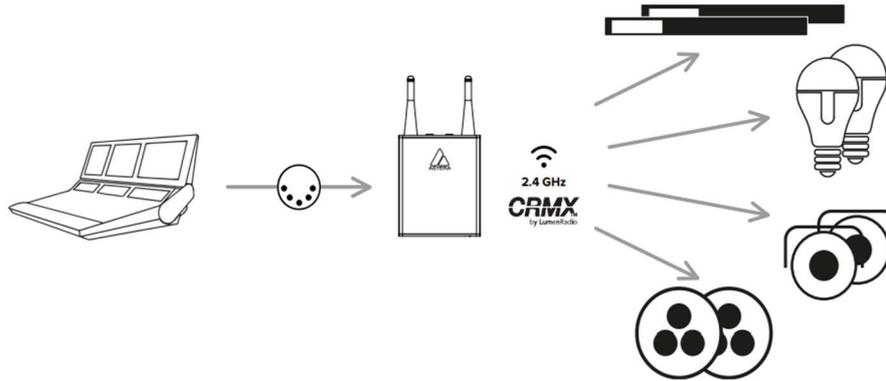
### 1.Helios Tube



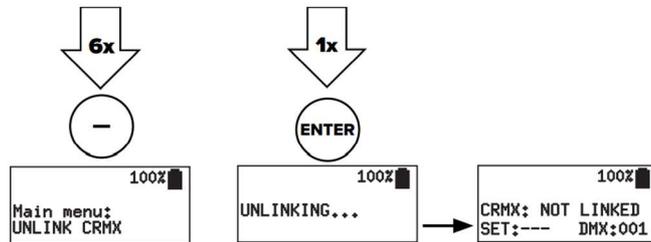
### 2.AsteraApp



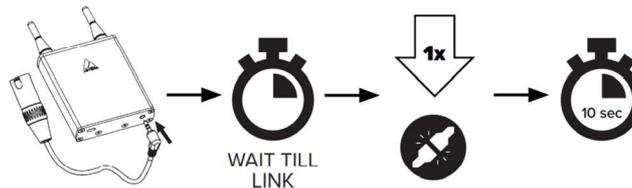
## 6. Linking to a CRMX transmitter / CRMX 送信機とのリンク



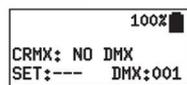
1.Helios Tube BTB      2.Helios Tube BTB      3.Helios Tube BTB



4.AsteraApp

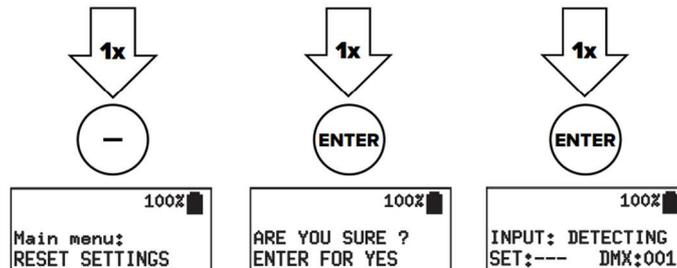


5.Helios Tube BTB



## 7. Reset / 灯体のリセット

CRMXとBluetoothの接続を解除する際にリセットを行ってください。リセット後は“Input Select”が“AUTO”に変わり、ランタイムが5hモードになります。





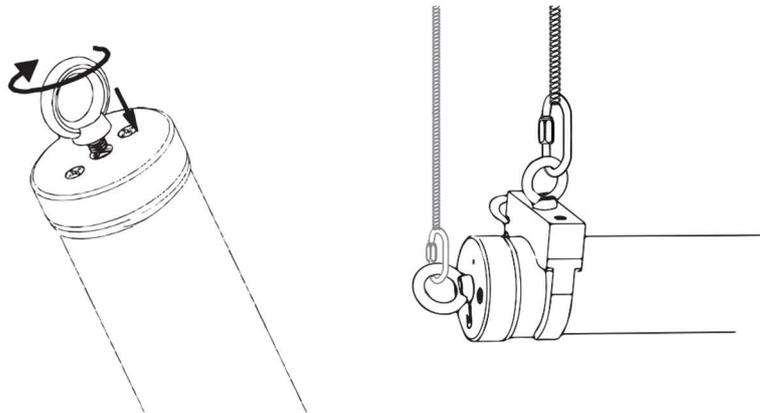
## 8. Charging / 充電

電源ケーブルが接続されている間、ディスプレイには充電状況が表示されます。バッテリーが空になった場合は充電を行ってください。充電時間はおよそ 3 時間です。

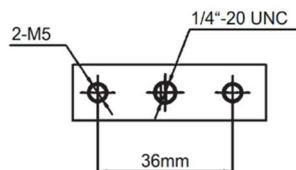
## 9. Rigging / 吊下げて使用する場合

Helios Tube BTB は M5 アイボルトか TubeHolder 2 式を使用することで吊下げ運用に対応します。TubeHolder には取付アクセサリかアイボルト用の 1/4"-20UNC 規格のネジ穴が付いています。付属の安全ピンを組み合わせてご使用ください。

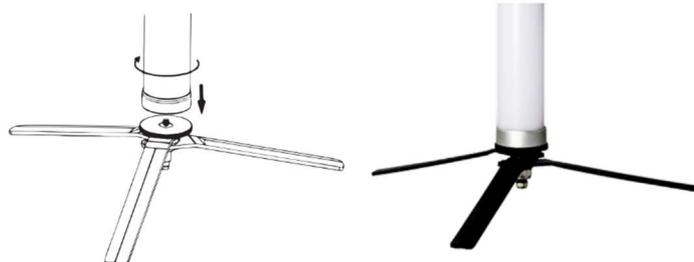
吊下げ運用の際はセーフティワイヤーの取付を必ず行ってください。その状態で、灯体が落ちた場合でも 20 cm 以上下がらないよう、取り付けを行ってください。



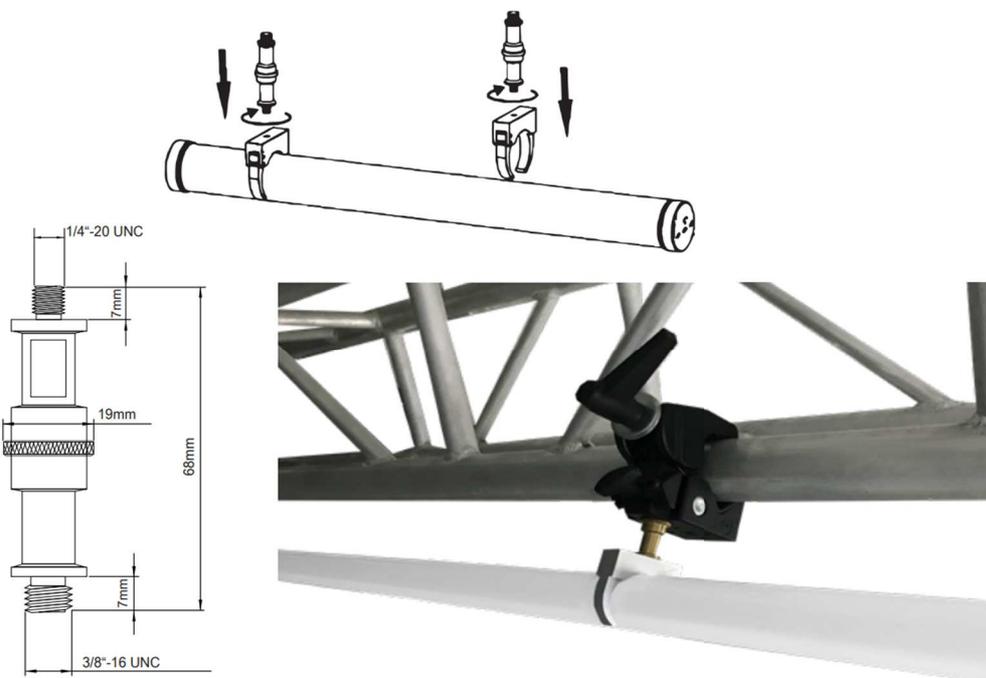
### TubeHolder(AX1-H)



### TubeStand(AX1-STD)



## 10. Optional available mounting accessories / その他のアクセサリ BabyPin(AX1-BLT)



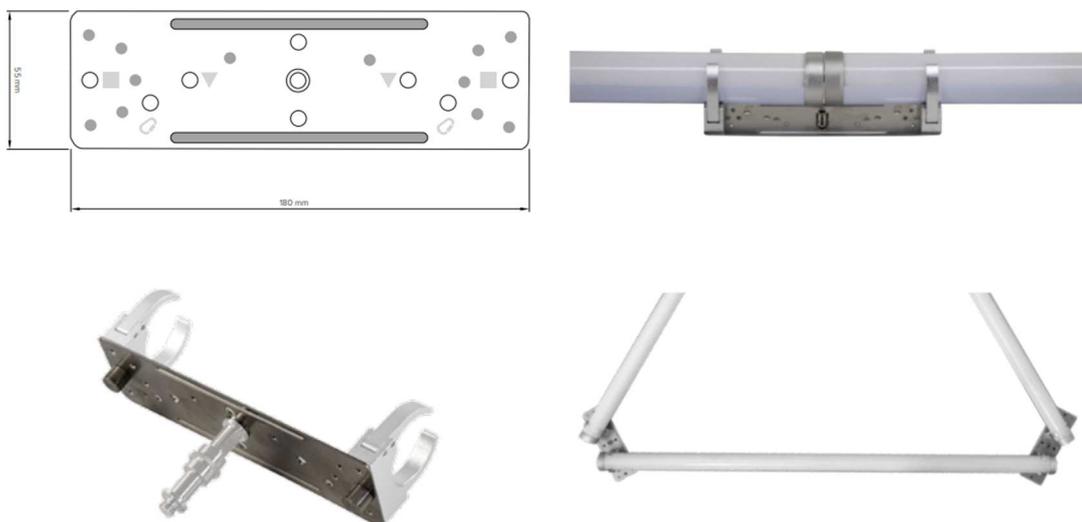
## HeliosHandle(FP2-HND)

Helios Tube BTB を手持ちライトとして使用できます。



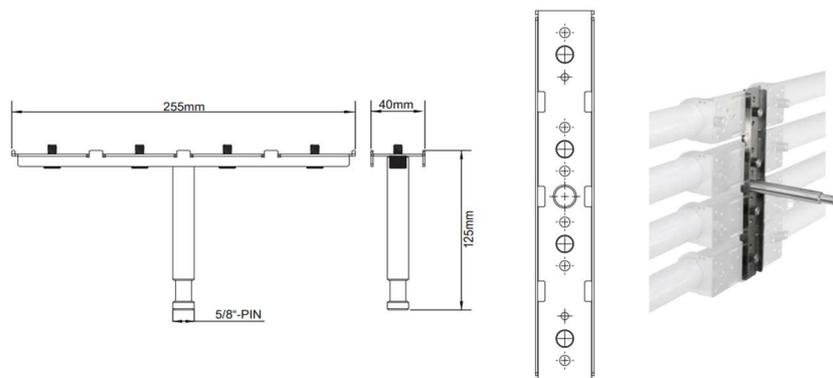


## WingPlate(AX1-WP)



TubeHolder(AX1-H)2式を取り付けるためのホルダーで、背面に BabyPin(AX1-BLT)用の 1/4"-20 規格のネジ穴が設けられています。灯体の吊下げや取り付けに使用したり、三角形や四角形などの形にチューブライトを組み合わせる際にも活躍します。

## CrossPlate(AX1-CP)



最大 4 枚までの WingPlate をこの CrossPlate 1 枚に取り付けることで、4-Bank のチューブライトの形に組むことが可能になります。荷重に耐えられるように CrossPlate の背面には 5/8" の BabyPin が溶接されています。

注意: CrossPlate を使用するには別売りの WingPlate(AX1-WP)をご用意していただく必要があります。



## INTRODUCTION and INTENDED USE / 製品紹介と使用目的

Astera Helios Tube BTB はイベントや撮影業界のプロのための LED チューブライトです。Helios Tube BTB は見せライトや仕込みにも可能なライトとして設計されました。バッテリーが内蔵されていることにより、従来のライトよりも早く設置・使用することが可能です。Titan LED エンジンが搭載されているため、抜群の色味、光の質を体感することができます。この Helios Tube BTB が放つ光の色や色温度は様々な方法で調整することが可能です。AsteraApp や有線の DMX、無線の CRMX によって操作することができるだけでなく、搭載されているディスプレイや別売りの赤外線リモコンでも制御が可能です。

この Helios Tube BTB は吊り下げ運用も含めた、様々な方法で使用することが可能です。このため、製品両端にはセーフティワイヤー用のアイレットが設けられています。

IP65 のため、Helios Tube BTB は屋内でも野外でも使うことができます。

(シリコンキャップを DC プラグに装着した場合のみ防滴)

灯体は強く振らないでください。また、設置や使用の際には強い力をかけないようにご注意ください。

設置場所を決める際には極端な高温やほこりの多い場所で灯体を曝さないようにご注意ください。長時間直射日光に当てないようにご注意ください。

事故を防ぐため、灯体の周辺にケーブルを乱雑に配置しないようにご注意ください。

使用可能温度が決められています。車内やヒーターのそばなどに長時間置かないようにご注意ください。

電源ソケットに接続した状態で雷雨の中での使用は絶対にお止めください。過電圧による故障・事故に繋がります。

灯体の支持材に取り付け・取り外したり、設置する際は周囲の安全を確認してください。

灯体を設置する際はセーフティワイヤー等を併せてご使用ください。

安全上の理由から改造は禁じられています。

この説明書に記載されていない使用を行った場合、灯体の損傷や保証が効かなくなる恐れがあります。また、誤った使用方法は漏電や火災、感電、異音に繋がる恐れがあります。



## SAFETY INFORMATION / 安全のために

本機を操作する前に取扱説明書をよく読んでください。本気を他のユーザーに渡したり、レンタルしたり、販売したりする場合は、必ず取扱説明書を添付してください。このマニュアルはすべての可能性のある危険と環境に対応できるわけではないことに注意してください。

この製品は業務用です。家庭用ではありません。



- ・高温の場所や直射日光の当たる場所では本機を操作しないでください。機能の異常や破損の原因となります。
- ・灯体が適切、安全に設置されていることをご確認ください。
- ・必ず地域の安全に従ってください。



- ・製品のハウジングを開けないでください。
- ・製品が破損している場合は、電源を入力しないでください。
- ・製品を水に浸さないでください。
- ・LED 光源を取り外さないでください。
- ・感電の危険があります。十分ご注意ください。



- ・Helios Tube BTB は電源への接続を容易にするため、コンセントのそばに設置される必要があります。
- ・電源ユニットは分解しないでください。感電の恐れがあります。



- ・光源を直視しないでください。
- ・目の損傷に繋がります。
- ・拡大鏡や光出力を増幅する光学機器を通して LED を見ないでください。
- ・照射光を拡散させたり、変化させる際には Astera 認証のアクセサリーをご使用ください。



- ・通常使用で本製品は 70℃まで高温になります。
- ・誤って製品に触れることがないようにご注意ください。
- ・換気のできる環境でのみ使用してください。
- ・製品をカバーなどで覆わないでください。
- ・十分に冷却してから触れてください。
- ・周囲の物から 30cmほど離してご使用ください。



## CLEANING and MAINTAINING / クリーニングとメンテナンス



- ・注意: 灯体の内部に液体が入ると漏電や電子部品の故障に繋がります。  
洗剤や溶剤は使用しないでください。汚れを拭き取る際は乾いた柔らかい布を使用してください。

## SECONDARY PROTECTION / 二次的な保護



Helios Tube BTB を吊り下げて運用する際は常にセーフティワイヤーが取り付けられている必要があります。



セーフティワイヤー用の穴をご使用ください。

## TROUBLESHOOTING / トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処法
灯体が点灯しない	灯体が電源に接続されていない	AC に接続し、再度電源を入れる
灯体の電源は入るが、LED が光らない	灯体がブラックアウト (BLACKOUT) モードに設定されている	ディスプレイを確認する/DMX モードで操作しており、有効な信号が受け取れていない場合、リセット (RESET SETTINGS) を試みる
灯体が正常に動作しない 色、エフェクトの表示がされない	灯体が以前の設定で動作している可能性がある	リセット (RESET SETTINGS) を試みる
電源ケーブルが接続されているが充電されない	バッテリーがフル充電されている	灯体の充電は内蔵バッテリーが 45°C 以下の時に行われます。灯体の電源を OFF にして冷却をしてください。十分に温度が下がると再び充電が行われます。



## SPECIFICATIONS-TECHNICAL DATA / 仕様-テクニカルデータ

製品名	FP2-BTB
LED エンジン	Titan LED Engine
LED 素子	RGBMintAmber
LED 電力	36W
消費電力	24W
光束	1340Lm
光出力@1m 4000K	393Lx
CRI(Ra) / TLCI 3200-6500K	≥96
ビームアングル	120°
フィールドアングル	180°
ピクセル数	8
ストロボ	0-25Hz
バッテリー寿命	300 回充電で 70%
充電時間	3 時間
バッテリーランタイム	最大 20 時間
バッテリーランタイム@max.Brightness	1 時間 45 分
DC入力	24V; 2A
DMX(有線)	対応
CRMX 受信機	内蔵
Bluetooth Bridge (BTB)	内蔵
使用無線帯域	CRMX 2.4GHz、UHF、Bluetooth、Wifi
無線使用可能距離	CRMX/UHF 最大 300m Bluetooth 最大 3m
ハウジング素材	ポリカーボネート、鉄
使用可能温度帯	0°-40°C
寸法(mm)	φ42x550mm
重量	0.765 kg
IPレート	IP65



## RF CHARACTERISTICS / 電波特性

無線規格	変換方式	ERP	チャンネル数
EU:UHF(863-870MHz)※	FHSS	<25mW	47
USA:UHF(917-922.20MHz)	FHSS	<25mW	53
AUS:UHF(922.30-927.50MHz)	FHSS	<25mW	53
SGP:UHF(920.50-924.50MHz)	FHSS	<25mW	41
KOR:UHF(917.9-921.5MHz)	FHSS	<25mW	10
RUS:UHF(868.75-869.12MHz)	FHSS	<25mW	6
JPN:UHF(922.80-926.40MHz)	FHSS	<25mW	19
CRMX(2402-2480MHz)	FHSS	-	79
Bluetooth 5.0 LE(2402-2480MHz)	FHSS	10mW(BLE)	40
WiFi(2412-2472MHz)	DSSS, OFDM	100mW	13

※短距離無線アプリケーションで使用するための周波数の一般的な割り当て



### Spectrum usage regulations

Frequency range in MHz <sup>1)</sup>	Maximum equivalent radiant power (ERP)	Additional parameters / frequency access and interference mitigation techniques
865 - 868	25 mW	Requirements for frequency access and mitigation techniques <sup>3)</sup> Alternatively, a maximum duty cycle <sup>2)</sup> of 1% can be used.
868,0 - 868,6	25 mW	Requirements for frequency access and mitigation techniques <sup>3)</sup> Alternatively, a maximum duty cycle <sup>2)</sup> of 1% can be used.
868,7 - 869,2	25 mW	Requirements for frequency access and mitigation techniques <sup>3)</sup> Alternatively, a maximum duty cycle <sup>2)</sup> of 0.1% can be used.
869,40 - 869,65	500 mW	Requirements for frequency access and mitigation techniques <sup>3)</sup> Alternatively, a maximum duty cycle <sup>2)</sup> of 10% can be used.
869,7 – 870,0	25 mW	Requirements for frequency access and mitigation techniques <sup>3)</sup> Alternatively, a maximum duty cycle <sup>2)</sup> of 1% can be used.

1) The use of adjacent frequency bands within this table as a single frequency band is permitted, provided that the specific conditions for each of these adjacent frequency bands are met.

2) „duty cycle“ means the ratio of  $\Sigma(T_{on}) / (T_{obs})$  expressed as a percentage, where  $T_{on}$  ' is the ,on-time' of a single transmitting device and  $T_{obs}$  ' is the observation period  $T_{on}$  is measured in an observation frequency band ( $F_{obs}$ ). Unless otherwise specified in this general allocation,  $T_{obs}$  is a continuous period of one hour and  $F_{obs}$  is the applicable frequency band in this general allocation (table).

3) Frequency access and interference mitigation techniques shall be used whose performance level at least meets the essential requirements of Directive 2014/53/EU or the Radio Equipment Act (FuAG). Where relevant techniques are described in harmonised standards, the references of which have been published in the Official Journal of the European Union pursuant to Directive 2014/53/EU, or parts thereof, performance shall be ensured which is at least equivalent to those techniques.



## CE AND FCC CONFIRMITY / CE および FCC への適合

この装置は FCC 規則第 15 部に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従います。

- (1)このデバイスは、有害な干渉を引き起こさないこと。
- (2)このデバイスは、受信した干渉を受け入れなければならない。

### FCC 表明

注:この装置はテスト済みであり、FCC 規定のパート 15 に準拠したクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉から適切に保護するためのものです。この装置は通常の無線周波数帯を使用し、電波を発生させるため、指示に従って設置および使用されなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で電波障害が発生しないという保証はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、これは装置の電源のオン/オフによって判別できますが、ユーザーは以下の対策のうち 1 つ以上によって干渉を修正することをお勧めします。

- ・受信アンテナの向きを変えたり、移動したりする。
- ・装置と受信機の間隔を広げる。
- ・受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに機器を接続する。
- ・販売店または技術者に相談する。

### EU 適合宣言

これらの製品は、欧州連合の RED(無線設備指令)(2014/53/EC)に準拠しています。この装置は以下の適合規格を満たしています。

ETSI EN 301 489-1 V1.8.1; ETSI EN 301 489-3 V1.4.1; ETSI EN 300 328 V1.8.1; EN 609 50

## Contact information



江東電気株式会社  
〒110-0012  
東京都台東区竜泉 2-17-3  
TEL 03-5808-1850  
FAX 03-5808-1910